

1. 花巻市消防本部管内の概況

平成18年1月1日に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の1市3町の合併に伴い、新「花巻市」が誕生しました。

当地は、岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、面積908.39k㎡を有しており、県都盛岡市から約30km、仙台市から約150km、東京からは約500kmの位置にあります。

地形は、西に奥羽山脈、東に北上高地、その間を流れる北上川には西から豊沢川、瀬川、葛丸川、東から猿ヶ石川、稗貫川が合流し、北上川を中心として広がる流域の平野には穀倉地帯が形成されています。

気候は奥羽山脈、北上高地に囲まれているため内陸性の平穏な気候です。

市内の交通は、本県唯一の空港のいわて花巻空港が所在し、札幌空港まで約55分、名古屋（小牧）空港まで約75分、大阪（伊丹）空港まで約90分、福岡空港まで約130分と、北海道・中部・近畿・九州を結ぶ路線が整っています。道路は東北縦貫自動車道とこれと平行に走る国道4号、同456号、本県内陸部と太平洋沿岸部を結ぶ国道283号、同396号、そして東北横断自動車道が開通しました。鉄道は東京まで約160分の東北新幹線をはじめ東北本線や釜石線と、空路、高速道、鉄道の三拍子そろった高速交通の要衝になっています。

また、北上川を中心に肥沃な土壌の平野が広がり県内有数の穀倉地帯を形成し、園芸作物においても地域の特性を生かした野菜、果樹栽培等の生産が盛んに行われています。

観光においても、花巻温泉郷、花巻南温泉峡、東和温泉など多くの温泉を有しており、県内はもとより、高速交通網を活用して県外からも多くの観光客が訪れる保養地になっています。

さらに、雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズの詩人宮沢賢治生誕の地、また詩人で彫刻家の高村光太郎が晩年を過ごした「花巻」。貴重な高山植物の生育地として知られる早池峰山と神楽とワインの里「大迫」。日本三大杜氏の一つである南部杜氏発祥の地「石鳥谷」。近代美術の先駆者萬鉄五郎の誕生の地であり、ウォータースポーツの盛んな田瀬湖を有する「東和」など、花巻市は豊かな自然、歴史、文化を持ち、これらを基盤として活発な交流を展開させ、積極的に地域の発展整備が続けられています。

